あさひ
朝日ケ丘小学校
令和８年 11月 吉日
学 校 だ よ り

国際交流で多くの学び

校長　　小宮俊彦

10月22日（木）本校４年生児童が、台湾から来日した三光国民小學（台湾の公立小学校）の児童14名（４～６年生）と国際交流を図りました。国が違えば生活様式や習慣が異なります。まして言葉が通じない！　子供たちは不安と期待が混在する中、バスの到着を待っていました。

およそ４時間の滞在でしたが、文化交流で本校の児童は、運動会で披露した南中ソーラン節を、三光国民小學の児童はリコーダーの演奏を披露しました。その他にも日本の昔遊び、総合的な学習で取り組んでいる大賀ハスの紹介、校舎内の案内、給食を一緒に食べるなど、様々な交流をしました。中でも台湾には学校で掃除をするという時間はなく、台湾の児童にとっては新鮮だったようです。

台湾はバイリンガル教育が盛んで、中国語の他に英語も話せるようですが、ほぼ日本語オンリーの朝小の４年生は、身振り手振りや片言の英語、単語で校舎内を案内したり、ギガタブ（タブレット端末）の翻訳機能を活用したりして、意思の疎通を図っていました。勢いで話しかけることで、何とか通じることができたと喜んでいました。

帰り際に交流がどうであったか尋ねた際には、どの子も笑顔でとても楽しかったと感想を述べていました。そして別れるのが悲しく、バスに向かって力いっぱい手を振っている姿が印象的でした。

わたくし校長としても、この経験で日々取り組んでいる外国語の勉強や、それ以外の教科の勉強は、世界中の人同士がコミュニケーションを図る上で、学んでいくことが大切であることを感じ取ることができたのではないかと思えます。これからの日々の教室での学習が、子どもたちにとって、意義を感じることにつながってくれたのではないかと思えた一日でした。

１１月の生活目標　「本に親しもう」

※学年・学級の実態に合わせて、児童一人一人が自分の課題として取り組めるよう、具体的な目標を設定して取り組みます。